令和７年度古賀市男女共同参画計画実施状況報告書（令和６年度事業分）　質問事項（各課からの回答）

資料　2

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	成果の2点目に記述されている関係課とはどの部署を指すのかがわからなかった。
	Ⅰ	1	(1)	1	人権センター		
回答	○男女共同参画セミナー　（健康介護課と共同実施） ○こがのパパたちトーク　（まちづくり推進課多文化共生係と共同実施） ○名画会（文化課図書館係と共同実施）						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	研修の対象は新規採用職員だけで良いのか、新規採用以外の職員への研修がどのようになっているのかが気になった。
	Ⅰ	1	(1)	4	人権センター		
回答	「表現のガイドライン」につきましては、庁内ネットワークに掲載し、全職員が確認できる環境を整えております。研修については、新規採用職員に限らず、令和2年度に管理職級、令和4年度に係長級、令和6年度に係員級と、段階的に全職員を対象に実施しております。また、令和3年度には全職員を対象とした人権問題（前期）研修として、性の多様性に関する研修を行いました。それらの研修の中でジェンダー平等の視点に配慮した表現についても言及いたしました。これらの取組により、全職員にジェンダー平等の視点に配慮した表現が浸透しているものと認識しております。今後は、その知識や意識が薄れないよう、時機を見て庁内ネットワークを通じて「表現のガイドライン」の再確認を促すなどの取組も検討してまいります。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	「情報を読み解く力の育成」という目的に合致した内容となっているか疑問に感じます。 審議会の際に「いのちのノート」を拝見できると、評価や提言がしやすくなると思います。
	Ⅰ	2	(2)	5	学校教育課		
回答	「いのちのノート」につきましては、部数が限られており、中学校は各校に3部、小学校は中学校区ごとに低・中・高学年向けを作成しております。改訂は、市内小中学校の児童支援担当者が中心となり、毎年度、その年度の社会情勢や校区ごとの人権課題に応じて行っており、種類は12種類、テーマや分量も多岐にわたります。内容には、例年、主に文部科学省作成の「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」等を活用し、ネットワークゲームの危険性、ID等交換による危険性、SNS利用上の留意点等を題材としています。授業においては、「動画の中の問題行動は何か」「なぜこの情報を信じてしまったのか」「SNSを上手に活用するために気を付けることは何か」「学んだことを保護者に伝えて話し合おう」（学習内容の一例）といった問いを道徳や特別活動等で児童生徒が主体的に考える学習を実施しております。 改訂につきましては、その年度の社会情勢等に応じた一部修正にとどまり、大幅な変更は行っておりません。部数の都合により配布は困難でございますが、参考として学校教育課保管分を複写した1部を人権センターにて保管しております。ご確認いただけますので、ご希望の際はお申し出ください。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	毎月テーマやねらいを設定？
	Ⅰ	2	(1)	6	子ども家庭センター（保育所）		
回答	参考までに最新版の令和7年度のテーマとねらいについて資料を添付しています。令和6年度もほぼ同様の内容となっています。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	「いのちのノート」をどのように改編したのか、もっと具体的なことが分からないと評価が難しいです。
	Ⅰ	2	(1)	7	学校教育課		
回答	「いのちのノート」は、発達段階に応じた内容とするため、中学校は各校に3部、小学校は中学校区ごとに低・中・高学年向けと年代別に作成しております。作成の方針は、 基本目標Ⅰ－基本方向1－基本施策(2)－具体的施策5と同様でございます。部数の都合により配布は困難でございますが、参考として学校教育課保管分を複写した1部を人権センターにて 保管しております。ご確認いただけますので、ご希望の際はお申し出ください。なお、「いのちのノート」におけるジェンダー平等に関する内容の一例は以下のとおりです 低学年：「とりかえっこ　はっぴょうかい（えほん）」　めあて：「おとこのこらしく、おんなのこらしくってたいせつなことかな。」 中学年：「『女の子だから…』『男の子だから…』」例：父親が「男の子だから泣くんじゃない」と叱るイラスト、男の子が編み物をしているイラスト等を提示し、固定的性別役割 分担意識について考えを促す。その後、「自分たちはどうか」と問いかけ、日常生活に即して考える学習。 高学年：「一行詩をつくろう（男女共同参画社会）」　古賀市人権センターが募集している一行詩をつくることでジェンダー平等について考える学習。 中学生：「男らしい、女らしいって何？～女子スポーツの歴史から考えよう～」　オリンピックの正式種目に採用された女子種目やオリンピック憲章等を学びながら、 ジェンダー平等について考える学習。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	児童センターにおいて…→全ての児童センターで？
	Ⅰ	2	(2)	8	青少年育成課		
回答	全ての児童センターでジェンダー平等に関する掲示物の掲示、書籍の配架を行っています。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	性別を問わない料理講座やメイク講座はぜひ続けるといいと思う。 又、男女比がどのくらいかわかると良かった。
	Ⅰ	2	(2)	8	生涯学習推進課		
回答	①8月10日　Let's クッキング　受講者10名（男性2名・女性8名）　②10月29日　ココロ弾むメイク講座　受講者18名（男性1名・女性17名）						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	どのようなテーマの研修に何人参加したのか、といった情報がないと評価できません。
	Ⅰ	2	(3)	11	子ども家庭センター（保育所）		
回答	○古賀市男女共同参画フォーラム　令和6年6月23日　3名　○人権保育講座　令和6年6月27日　2名　○古賀市同和問題を考える市民のつどい　令和6年7月12日　11名 ○福岡県人権・同和教育夏季講座　令和6年7月29日　3名　○古賀・粕屋地区研修会　令和6年9月5日　7名　○福岡県人権保育研究集会　令和6年10月19日　4名 ○全国人権保育研究集会　令和6年10月26日～27日　1名　○いのち輝くまちこが2024　令和6年12月18日　14人 ○令和6年度男女共同参画研修　令和7年1月23日・30日　計11名　○人権問題研修前期　23名　後期17名 ※男女共同参画に関してだけではなく、人権研修に参加したものになります。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	女性人財リストの内容がわかりにくい気がしました。どのような能力があれば登録できるのか？
	Ⅱ	1	(2)	13	人権センター		
回答	対象は、市内に居住、通勤、通学、または市内で活動している団体に所属している18歳以上の女性で、次のいずれかに該当する方、とさせていただいております。 (1)男女共同参画、福祉及び教育等のあらゆる分野において関心がある方又は専門的知識、活動実績がある方 (2)市政や地域の発展に関心があり、審議会等の委員として活動する意欲のある方						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	事業内容または成果に過年度の女性構成比率を提示することが望ましい。
	Ⅱ	1	(2)	15	生涯学習推進課		
回答	○分館長　令和4年度　46館長中女性4名（8.7%）　令和5年度　46館長中女性6名（13.0%）　令和6年度　46館長中女性7名（15.2%） ○社会教育委員　令和3・4年度（任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日）9人中女性4人（44.4%）　令和5・6年度（任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日）9人中女性5人（55.5%）						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	今回初めて男女比の状況確認を行ったのか、これまでにも確認していたのかが不明確である。 また状況確認だけではなく、男女比の目標値を定める方が良いように思う。
	Ⅱ	1	(2)	16	人権センター		
回答	以前より男女比の状況確認を行っております。目標値は同じ基本施策⑵の具体的施策№15を準用し男女それぞれ30%以上の構成目標とさせていただきたいと考えます。 シルバー人材センター　令和4年度（男性12人・女性2人）　令和5年度（男性10人・女性4人）　令和6年度（男性10人・女性4人） 社会福祉協議会　令和4年度（男性8人・女性8人）　令和5年度（男性10人・女性6人）　令和6年度（男性10人・女性6人）						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	「男性の育児休業取得率が向上した」で100%なのにp107の目標ではR13までに50%と下げているのは どういう事なのか意味が分からなかった。
	Ⅱ	1	(3)	17	人事秘書課		
回答	P107の目標は、第3次古賀市男女共同参画計画策定当初に成果指標として設定したものです。当時（令和2年度）、本市の男性職員の育児休業取得率は29.0%であり、この状況を踏まえて策定した古賀市特定事業主行動計画（計画期間：令和2年度～令和7年度）において、令和7年度の目標値を50.0%と設定しました。第3次男女共同参画計画では、この特定事業主行動計画の目標値をそのまま成果指標として位置づけています。なお、今年度実施する第3次古賀市男女共同参画計画の中間見直しの際には、令和7年度から令和11年度までを期間とする新たな特定事業主行動計画の目標値を参考に、成果指標の見直しも検討してまいります。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	成果の記述内容の意味が分かりにくい。事業内容または成果に対象数を記述する方が良い。またアンケート調査以外 の啓発方法（研修案内やフライヤーの配布など）の状況がわかるとより良いと感じた。配布件数もあるとよい。
	Ⅱ	2	(1)	20	人権センター		
回答	本市における公共工事等の入札は、総合評価方式ではなく、価格による指名競争入札を基本としているため、女性活躍推進等に関する取組状況を入札での加点に直接反映させる仕組みは導入しておりません。そのため、入札参加資格審査申請時に事業所へ男女共同参画推進状況に関するアンケート調査を実施し、82事業所（対象は申請のあった市内事業所94件）から回答を得ました。これにより、事業所の取組状況を把握するとともに、回答を契機として女性活躍推進への意識づけにつなげることができたと考えています。 また、本アンケートの依頼文においては、「古賀市男女平等をめざす基本条例」に定める事業者の責務や、国における女性活躍推進の動きなどを明記し、事業者に対して条例の趣旨や女性活躍推進の重要性をご理解いただけるよう配慮しました。これにより、単なる調査にとどまらず、依頼文自体を通じた啓発の機会ともなりました。 以上により、入札への直接的な加点はないものの、数値的な把握とアンケート依頼文を活用した啓発の両面から、事業所における女性活躍推進への理解・意識向上に資する成果が得られたと考えています。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	提出件数（P35)を記述する方が良いように思う。
	Ⅱ	2	(1)	20	管財課		
回答	提出件数82件となっております。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	成果の3点目の記述の意味がわかりにくいと感じた。
	Ⅱ	2	(2)	21	人権センター		
回答	無料職業紹介所は商工政策課が所管しており、同課にはハローワーク等から一般的な就労支援に関するチラシの配架依頼が寄せられています。一方、人権センター男女共同参画・多様性推進係には、国や県の男女共同参画担当部署から、女性の就労支援に特化した情報チラシの配架依頼等が寄せられます。こうした情報を無料職業紹介所に提供・配架することで、求職中の女性に対し、より多くの支援情報を届けることができるようになった、という趣旨で記載したものです。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	令和6年度の参加者数は3名だったが、過年度はどうだったのか。開催回数よりも開催時期の検討も必要なのではないかと感じた。
	Ⅱ	2	(2)	22	商工政策課		
回答	令和4年度　中高年と女性の就職セミナー　参加者数　10人（男女比　5：5） 令和5年度　中高年と女性の就職セミナー　参加者数　9人（男女比　3：6）						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	実施回数および参加者数が不明なので、提示する方が良いように思う。
	Ⅱ	2	(3)	24	農林振興課		
回答	【女性認定新規就農者の支援の実施】※市の農業者支援会議による営農指導等 〇女性の認定新規就農者への栽培技術の指導や営農相談に対するアドバイス等　実施回数：週１回程度　圃場にて×12か月＝48回　対象者数：新規就農者等の女性農業者　6名 〇女性新規就農者の初期の経営安定を図るための経営開始資金の交付　対象者・・・夫婦型1組＋個人（女性）1名＝計2名　※年間補助額をそれぞれ２回に分けて交付 【家族経営協定締結の支援】 〇女性農業者研修会等において、家族経営協定について啓発　→　コスモス広場などで広く周知していますが、本市からの参加者を把握していません。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	各回の参加者数を提示する方が良いように思う。
	Ⅱ	2	(3)	25	農林振興課		
回答	①「アスパラ農家の栽培視察」（糸島地区内の圃場整備地区）　日時：令和6年10月15日（火）　参加者1名 ②「女性農業者農業機械操作技術向上研修会」（北筑前普及指導センター主催）　日時：令和6年11月 8日（金）　参加者1名 ③「営農基礎講座」（ＪＡ粕屋主催）　日時：令和6年12月12日（木）　参加者1名						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	各回の参加者数を提示する方が良いように思う。
	Ⅱ	3	(1)	26	生涯学習推進課		
回答	①6月8日　ダンボールコンポスト　受講者16名（男性1名・女性15名）　②7月6日　ダンボールコンポスト　受講者15名（男性1名・女性14名） ③6月25日　パン教室　受講者24名（男性1名・女性23名）　④7月21日　みんな笑顔でお片付け　受講者9名（男性2名・女性7名） ⑤8月10日　Let’sクッキング　受講者10名（男性2名・女性8名） ⑥2月12日　Let’s 男性料理教室　受講者11名（男性11名）　⑦2月19日　Let’s 男性料理教室　受講者11名（男性11名）						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	課題に記述されている「増えている」の根拠が不明なので、過年度の参加者数を提示する方が良いように思う。
	Ⅱ	3	(1)	27	子ども家庭センター		
回答	〇昨年度の参加者数　「ママ講座」開催回数：3回　参加者数31名（うち男性0人　女性31人）　「パパ講座」開催回数：6回　参加者数：78名（うち男性45人　女性33人） ママ講座（男性0人→3人）で3人増、パパ講座（男性45人→34人）で11人減、【新規事業】パパいっぽ（20人）で20人増。総計は増となっていることから「増えている」としています。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	相談事業を多数実施していることとは思うが、事業内容には参加者数とともに具体的に記述する方が良いように思う。
	Ⅱ	3	(1)	28	子ども家庭センター		
回答	・妊娠中期すこやか教室：妊娠中の生活や栄養についての助産師や管理栄養士による講話　→　6回開催し、18人が参加 ・産前産後訪問事業：妊娠8ヶ月ごろの妊婦の家庭を訪問し、妊娠後期の過ごし方など説明するとともに、産後おおむね1年以内の産婦に対しては、おっぱい相談、ミルク相談などのサポートを行う。　→　189人を訪問。 ・乳児家庭全戸訪問：おおむね生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師、助産師、保育士等が訪問し、あかちゃんの発育の悩み等子育て全般についてサポートを行う。　→　369人を訪問。 ・離乳食教室：離乳食の進め方、ポイント、調理法等についての管理栄養士による講話　→　12回（月1回）開催し、133人が参加。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	参加者数を記述する方が良いように思う。また課題の記述が事業内容と合致していない印象である。
	Ⅱ	3	(2)	32	総務課		
回答	○防災講座：14回開催、参加者465名 ○地域防災力アップセミナー（福岡女学院看護大学主催、市・市社協との連携事業） ：テーマ「災害対応にジェンダーの視点を」　開催日①6月15日　参加者32名　②7月27日　参加者39名 ご指摘のとおり、事業内容は今年度に実施した「防災講座やセミナー」であり、課題は中長期的に解決すべき「女性委員比率の向上」です。一見すると直接の結びつきが弱く見えますが、実施計画上は、地域防災に男女共同参画の視点を取り入れるという共通目的のもと、①啓発・研修による理解促進（事業内容）と②組織体制の改善（課題）を両輪で進める位置付けとなっています。今後は、事業内容の説明時に「これらの啓発が、委員比率改善などの課題解決につながる」という点を明確に記載するなど、関連性が分かりやすい表現に工夫いたします。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	ジェンダーギャップ指数等に関する情報を提供。
	Ⅱ	4	(1)	34	人権センター		
回答	2025.6.12発表のジェンダーギャップ指数は148か国中118位であり、「教育」と「健康」の値はトップクラスだが、「政治」と「経済」の値が低いという結果になっています。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	課題の1点目に記述されている、待機児童が「年度末に向けて徐々に増加している状況」を明確にするために、中間時点および年度末時点での待機児童数を成果に記述する方が良いように思う。
	Ⅲ	1	(1)	35	子ども家庭センター		

回答　ご意見ありがとうございます。令和6年度の待機児童数は以下の通りです。

○待機児童数(令和6年度)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
0歳	0	1	0	2	1	1	1	10	14	21	30	43
1歳	0	10	11	8	8	11	4	10	7	5	7	11
2歳	0	0	0	0	0	0	5	4	16	16	17	16
3歳	0	0	1	2	3	3	2	2	6	8	7	8
4歳	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
計	0	11	12	12	13	16	13	27	44	52	63	80

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	女性の介護者の場合には特に、子育てとのダブルケアに陥っている場合もある可能性は高いので、子育て支援センターとの連携が必要です。どのような取り組みをされているか、教えてください。
	Ⅲ	1	(1)	36	福祉課		
回答	介護や子育てなど、課題が多岐にわたるケースについては、福祉課が主催する支援機関連携会議（月1回）において情報共有を行うとともに、必要に応じて関係する各担当課が連携し、協力して支援にあたっています。また、支援が必要な子育て世帯にヘルパーを派遣する「子育て世帯訪問支援事業」や母のレスパイト目的等で利用できる「子育て短期支援事業」を実施し、子育て世帯の支援を行っています。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	事業内容の記述が抽象的であり、具体的な内容が不明である。また具体的施策と事業内容、成果が合致していない印象を受けた。
	Ⅲ	1	(2)	38	商工政策課		
回答	男女共同参画の推進の一環として、人権センターと連携し、古賀市企業内人権・同和問題研修推進員会議に所属する市内企業を対象に、「アンコンシャスバイアスの解消」をテーマとした有識者講演及びワークショップを実施いたしました。固定的性別役割分担意識やLGBTQへの理解など、多様性を尊重する視点を学ぶ機会を提供し、企業関係者を含む幅広いご参加をいただきました。参加者からは「講義のみの研修に比べ、より一層理解が深まった」「人口の1割を占めるLGBTQの方への配慮が必要と感じた」などのご意見が寄せられ、概ね高い評価をいただきました。アンコンシャスバイアスや固定的性別役割分担意識の解消は、多様な人材が活躍できる職場環境づくりにつながり、結果としてワーク・ライフ・バランスの推進に資する取組となったものと考えております。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	就労に関する資格取得のための情報提供について、高等職業訓練促進給付金及び自立支援教育訓練給付金の案内及び支給は、ひとり親家庭等の自立支援につながる施策だと考える。詳しい内容を教えてください。
	Ⅲ	1	(3)	39	子ども家庭センター		
回答	【高等職業訓練促進給付金】ひとり親家庭の母や父が、就職に有利な資格を取得するため、養成機関において1年以上修業し当該資格の取得が見込まれる方に対して、生活費の負担軽減のため、修業する期間に訓練促進費等を給付します。 【自立支援教育訓練給付金】ひとり親家庭の母や父が、就職につながる能力開発のために受講した教育訓練講座の受講料を助成します。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	素朴な疑問として、若い世代がリーパスプラザに来るのだろうか？と感じた。リーパスプラザでのパネル展開催以外の情報発信をしているのであれば、その点を事業内容に記載する方が良いように思う。
	Ⅲ	1	(4)	41	まちづくり推進課		
回答	リーパスプラザにつきましては、自習室や児童向けの習い事等の利用があり、児童・生徒やその保護者世代など、若い世代を含め、幅広い年齢層、また性別を問わず来館されているものと認識しております。また、市内児童センターでは、ボランティア募集や活動者の声を紹介するパネル展を開催し、子どもたちを通じて家庭にも活動の輪が広がるよう工夫しております。 情報発信につきましては、パネル展に加え、SNSや年4回発行の「わわわ通信」による周知啓発も行っております。さらに、ボランティア活動に参加しやすい環境づくりのため、ボランティア団体と希望者をつなぐマッチング交流会を開催するなど、相談事業においても工夫を重ねております。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	それぞれの開催日を記述するとより良いように思う。
	Ⅲ	1	(4)	42	生涯学習推進課		
回答	①11月23日　市民ウォーキング　参加者88名　②3月30日　地域ウォーキング　参加者78名 ③10月30日　朝活ウォーク　参加者34名　④3月12日　朝活ウォーク　参加者22名 当日の参加申請にて把握。性別欄はなし。開催日にもよるが、担当課の印象では男女どちらかに偏ってはおらず半々程度となっています。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	産後の助成についても記述する方が良いように思う。
	Ⅲ	2	(1)	44	子ども家庭センター		
回答	○体調や育児に不安のある母親が安心して子育てができるよう、体とこころのケアや育児サポートを市が委託する医療機関で、宿泊や日帰りで受けることができる産後ケア事業を44人が利用しました。 ○産前産後に心身に不調があるにもかかわらず、周囲から支援を受けることが難しい妊産婦のいる世帯に対し、ヘルパーを派遣する産前産後ヘルパー事業を28人が利用しました。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	課題では受診率について記述しているので、成果には受診率も記述する方が良いように思う。
	Ⅲ	2	(1)	44	健康介護課		
回答	がんの受診率については県がHPで公表するのですが、公表時期が遅く、現時点で令和４年度分が掲載されている状況です。今年度中に令和５年度分が公表されるようなスケジュールとなるため、受診率ではなく受診者数としています。なお、乳がん検診の受診者数については当初記載の暫定値1,382人から1,447人に時点修正させていただきます。 【受診率・過去年度（参考）】 子宮頸がん検診　令和2年度： 8.9%　令和3年度： 9.1%　令和4年度10.2% 乳がん検診　令和2年度：14.9%　令和3年度：14.4%　令和4年度14.9%						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	DV防止のための学習会の実施対象は中学校だけで良いのか？高等学校や大学での実施状況がわかるとより良いように思う。
	Ⅲ	2	(1)	47	学校教育課		
回答	DV防止のための学習会については、これまで福岡女学院看護大学1年生を対象に、人権センター事業として外部講師を招き、デートDVをテーマとした講座を毎年実施しています。 また、高等学校においては、市の事業ではありませんが、粕屋警察署の事業で、三年に一度全校生徒を対象に性暴力防止講演会を行っており、中学校に限らず、多様な場面でDV防止の啓発が行われています。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課		
	Ⅳ	Ⅰ	(1)	47	人事秘書課	質問	○「DVに特化した研修会は0件」であるにもかかわらず、「各職場において適切に研修を実施した」となっているのが矛盾しているように感じます。 ○事業内容または成果には、どのような研修を開催したのか明確に記述する方が良いように思う。
回答	「ご指摘のとおり、令和６年度後期人権研修において、「DV（デートDV）」に特化した研修の実施件数はゼロ件でしたが、各職場において、ハラスメント全般や女性やこども、高齢者、外国人の人権など、DVを含む広義の人権意識啓発や対応力向上を目的とした研修を各31課で個別に実施しており、職員の人権研修としては一定の成果はあったと考えております。 今後は、各所属が研修テーマを選択する方式を維持しつつも、DVに関する研修の重要性をあらためて周知し、研修テーマとして積極的に選ばれるよう働きかけを行ってまいります。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課		
	Ⅳ	Ⅰ	(2)	50	商工政策課	質問	成果に「促進することができた」と記述されている根拠が明確ではないように思う。根拠の提示が必要である。
回答	今回の研修会等の周知の対象である古賀市企業内人権・同和問題研修推進員会議は、各社の経営・人事部局の社員の参加が主となっており、研修で得られた知見・ノウハウが職場環境にフィードバックされることにより、多くの市内企業の人権意識が高まり、職場環境が改善されることが期待されると認識しております。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課		
	Ⅳ	Ⅰ	(2)	50	人事秘書課	質問	成果に「促進された」と記述されている根拠が明確ではないように思う。根拠の提示が必要である。
回答	ハラスメントの対応に関して、一点は外部の研修機関において、新任課長研修中のプログラムの中で、ハラスメントついての最新の知見を深める内容が含まれております。 このことについて、研修機関からの研修結果通知書等で一定の効果があったことを認識しています。また、その他に全職員を対象としてグループウェアでハラスメント防止等に関してその啓発を行っており、継続的な取組みにより各職員に意識が浸透しているものと考えておりますが、引き続き、ハラスメントに関する啓発等を実施することが重要と考えております。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課		
	Ⅳ	Ⅰ	(2)	51	総務課	質問	事業内容に記述されている防犯関係街頭啓発の具体的な実施方法がわかりにくい。 もう少し具体的な記述があると理解しやすいように思う。
回答	令和６年度の古賀市自主防犯団体連絡会（市内自主防犯団体・事業者・警察・市議会・市）の事業の一つとして、令和６年７月２３日にJR古賀駅にて性犯罪防止街頭活動を行いました。参加者９名（福岡女学院看護大学学友会ボランティア5名、粕屋警察署３名、古賀市1名）となっています。 啓発物品はみまもっち（福岡県警察が提供するスマートフォン向けの防犯アプリ。事件や不審者に関する情報を提供し、防犯ブザーや110番通報機能も搭載）の周知チラシやティッシュ・文房具等を同梱したものを配布しました。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課		
	Ⅳ	Ⅰ	(2)	51	子ども家庭センター	質問	事業内容に記述されている情報提供の具体的な実施方法がわかりにくい。もう少し具体的な記述があると理解しやすいように思う。
回答	保護者等からさまざまな相談を受けていますが、その多くは複合的な課題を含み、性暴力被害のみを切り分けて件数を把握していません。しかし、性暴力被害が疑われる場合やその可能性がある場合には、職員がインターネットで性暴力被害者支援センターふくおか等の情報を一緒に確認し、その場で電話番号や相談方法を案内するほか、必要に応じて同席して連絡を行うなどの支援を行っています。令和６年度は、このような情報提供を3件程度実施しています。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課		
	Ⅴ	Ⅰ	(2)	52	学校教育課	質問	成果に「風土が醸成されてきている」と記述されているが、その根拠の提示が必要だと思う。
回答	特別活動や道徳、保健体育等における人権学習（性の多様性）を実施した際、児童・生徒から「今まではこのような内容を知らなかったが、この学習を通して性の多様性について知ったり、性について悩んだりしている人がいることに気づいたりすることができた」といった意見が多く寄せられています。 これらの意見を踏まえ、継続的にこうした学習を行うことにより、性の多様性を理解する風土が徐々に醸成されてきているものと認識しております。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課		
	Ⅴ	Ⅰ	(2)	52	子ども家庭センター（保育所）	質問	○いつ、どこで、だれに、といったことを明記して頂きたいです。 ○事業内容には会の開催等の具体的に実施した内容について記述する方が良いように思う。また事業内容および成果の記述について、誰が「考えていった」「考えることができ、自分らしさを理解することができた」のか、主語が不明である。
回答	ご意見ありがとうございます。下記のとおり事業内容・成果・課題を修正いたします。 【事業内容】子どもたちが多様性を受け入れる心を育くむために、日々の保育の中で絵本や紙芝居などでテーマが合致する教材を使用しながら、保育士と子どもたちで対話をすることで、保育士・子どもたちが共に性の多様性について考えていった。保育士は子どもたちに人形遊びやままごとコーナーでのドレス着用遊びの中で、性別にとらわれず好きな役割を自由に選べるように促し、子どもたちが多様な表現を受け入れる環境をつくった。 【成果】　絵本や紙芝居を通じて保育士と子ども、また子ども同士での対話を重ねることで、子どもたちは、性別は「男の子」「女の子」だけではないことや、家族の形が多様であることを自然に学ぶことができた。その成果として、子ども同士の遊びの中で多様な役割や表現が受け入れられるようになり、保育の場全体において互いを尊重する雰囲気の変化が感じられた。 【課題】　子どもたちが多様性の心を育む幼少期からの教育は重要であることを踏まえ、教材選びや進め方の工夫をして、今後も継続して取り組んでいく。						